

授業科目 ジェンダーと人権

【担当教員名】 塚本 康子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		○		○	
【概要・一般目標：G10】 人をジェンダーの視点で理解し、ジェンダーに関わる人権について考える。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、人権などの概念を理解する。 2. 家族関係におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 3. 教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 4. 社会生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 5. 保健・医療・福祉におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ジェンダーの概念			1	講義、担当：塚本 康子
2	家族関係におけるジェンダーと人権の問題			2	講義、担当：塚本 康子
3	教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題			3	講義、担当：塚本 康子
4	労働におけるジェンダーと人権の問題			4	講義、担当：塚本 康子
5	結婚生活におけるジェンダーと人権の問題			5	講義、担当：塚本 康子
6	保健、医療、福祉にみられるジェンダーと人権の問題			6	講義、担当：塚本 康子
7	ジェンダー論の歴史			7	講義、担当：塚本 康子
8	まとめ				担当：塚本 康子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		女性学・男性学—ジェンダー論入門 ジェンダーの法律学 初めて学ぶジェンダー論 ジェンダー・セクシュアリティ・制度	伊藤公雄 他 金城清子 伊田広行 小松満貴子	有斐閣 有斐閣 大月書店 ミネルヴァ書房	
その他の資料		その都度プリントを配布する。			
【評価方法】 レポート課題			【履修上の留意点】 文献を読み、考え、自らの考えをまとめていこう。 新聞や記事を読む習慣を身につけよう。		